

## 2019年度 第4回広報委員会 議事録

日 時 2020年1月23日(木) 13:00～17:30  
 会 場 日本代協 会議室  
 出席者 11名

(敬称略)

代協	委員名	代協	委員名	代協	委員名
沖縄	野原 早織	東京	大和 親英	高知	都築 弘典
宮城	小菅 淑人	富山	藤崎 康行	鹿児島	田中 拓
山梨	山下 一	大阪	諏訪 年信		

<担当副会長> 小平 高義    <事務局> 常務理事: 小見 隆彦、特命部長: 小出 鋭(記)

<オブザーブ> 新日本保険新聞社 金井次長  
                   V-HoPe 社 佐藤社長  
                   インプリメント社 木村社長

:委員長、 :副委員長

<委員会での決定事項>

- ・「みなさまの保険情報」4月号案を編集
- ・リニューアルされたHPを2/17にリリース
- ・代協の魅力を伝える動画を3月末完成に向けて取組みを加速

### 議 事

#### ・挨拶

##### 1. 野原委員長挨拶

- ・本年もよろしくお願ひしたい。
- ・今年は東京オリンピック・パラリンピックで全国各地が盛り上がる事が予想される。
- ・広報委員会は一丸となって目標達成に向かっており、新しい年を迎え、改めて気が引き締まる思いである。
- ・PR企画の各代協の動画も順調に配信され、HPリニューアルの目処も付き、残された課題も僅かとなった。
- ・本日も熱心な論議をお願ひしたい。

##### 2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に諏訪副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

#### ・報告事項・情報共有事項

##### 1. 報告事項

###### (1) 理事会・ブロック長懇談会報告

- ・事務局より、配布した三冠王関連資料、日本代協ニュース、理事会議事録・ブロック長懇談会次第の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。
- ・三冠王の直近状況を説明し、1代協が三冠王確定と報告した。
- ・仲間づくり推進入会 Active キャンペーンの2つの表彰基準を説明した。
- ・2020年12月までの日本代協公式行事の日程等を共有した。

## (2) 前回委員会の振り返り

- ・前回の広報委員会の論議内容、決定事項等を議事録で確認した。

## ・審議事項

### 1. 「みなさまの情報」保険の推進

#### (1) 2020年4月号 企画案

- ・新日本保険新聞社の金井次長より、「みなさまの保険情報」2020年4月号の企画案が提示された。  
1面の保険業界のテーマについて、以下の3案が提示された。  
ながら運転の罰則強化、自然災害に伴う災害関連死への対策、火災保険の補償機能の紹介
- ・提案された3案から全会一致で のテーマに決定した。2019年12月1日に施行された改正道路交通法での携帯電話使用等に関する罰則を紹介する内容とした。
- ・また、2面は当初の提案通り「遅らすと増える年金」とした。
- ・3面は、労務・労災リスクに備えるシリーズとして、今回は「年次有給休暇は必ず取得させなければなりません」をテーマとし、人員が限られる中小企業において休ませる方策を考えるヒントを紹介する。
- ・4面の健康に役立つトレーニングは、「ポッコリお腹」を解消するストレッチを紹介。

#### (2) 今後の推進

- ・1月号の購入状況を確認し、当面目標の購入率5%に対し、現状4.1%、必要会員数105店であることを共有した。
- ・小平副会長より、お客様向け情報提供ツールを自社で作成するコスト(主に費用と時間)を考えた場合、「みなさまの保険情報」を活用することが賢明であり、現状のままでは採算割れに伴う廃刊リスクに繋がる懸念が示された。
- ・購入会員の多くは情報提供ツールとしての有効性を理解しているものの、他の会員へ周知する機会に恵まれないこともあり拡販に至らず、各代協の広報委員(広報担当者)との連携も課題であることを共有した。
- ・顧客本位の業務運営を実践する上で不可欠な「情報提供」の代表として「みなさまの保険情報」、「体制整備」の代表として「日本代協アカデミー」を強く推奨すべきとの意見も出された。
- ・本ツールの本質を伝える動画の制作することを検討事項として共有した。

#### (お知らせチラシの執筆担当)

- ・4月号の執筆は大和副委員長が担当することとした(2/29原稿締切)。

### 2. HPリニューアルと今後の課題

- ・V-HoPe社よりHPリニューアルに関して、完成報告と納期大幅遅延への謝罪があった。
- ・事前連携済のテスト用URLで確認した本番モード画面につき、デザイン面で可読性の高いカラーや文字サイズを採用していると説明した。訴求力のあるスライドバナー、多階層のプルダウンメニュー、サイドバーによる導線といった機能も採用していると補足した。
- ・加えて、レスポンス対応でスマホ・タブレット等での可読性の高い表示となっている。
- ・日本代協事務局にて、容易にコンテンツの登録・更新が可能な設計となっていることを共有した。
- ・現状各代協からメール・FAXで提出されている活動報告(地域社会貢献・地球環境保全・各種研修等)に関して、二段階認証による管理画面からデータ投稿する方式に変更する仕様となっている。各代協の負担軽減の観点から、入力項目を選択式メインの設計とし、入力方法マニュアルの動画も提供予定。

- ・事前確認結果の意見交換をする中で、オープニングムービーのスキップボタンと動画ボリュームボタンの重なりを解消する要望が出され、修正を依頼した。
  - ・リリース日に関しては、現時点で公開可の状態であるものの、2/14まで現行HPにて損害保険大学課程コンサルティングコースの受講申込受付中で、混乱回避を考慮し、全会一致で2/17となった。
  - ・会員専用ページへログインする際のID・PWは毎年4/1(今年度のみ2/17)に変更し、周知方法は全会員と各代協事務局への一斉メール送信で対応することとした。
3. 各代協のHP活用推進
- ・組織委員会(16ブロックから選出)と連携するに際して、広報委員会(16ブロックから7名選出)との役割分担につき、意見交換を行った。
  - ・広報委員会の現要員数で各代協HPをチェックする(組織委員会の役割として整理)ことは困難と判断し、ガイドラインの作成提供の意見が出され、過去作成済みの「代協ホームページ制作に関するガイドライン」をベースに運用基準等を盛り込んだ内容で作成することとした。
  - ・直近で所属代協のHPリニューアルが完了した大和・諏訪副委員長にて、2月末日途に素案を完成させることとした。
  - ・小平副会長より、過去にルールを逸脱したシンボルマークのHP掲載された事例の紹介があり、ガイドラインの内容を各代協に浸透させることが重要とのアドバイスがあった。
  - ・各代協のHP管理方法にバラツキがあり、分かりやすい内容で作成することが望ましいとの意見が出された。
  - ・予算確保が困難で、HPリニューアルに着手できていない代協があることを共有した。
4. 2019年度PR企画総括と次年度課題
- ・インプリメント社より2019年度企画の直近状況(1/1~1/19)につき、視聴回数28,131回・総再生時間72,270分と報告があり、高い水準で視聴されているとの説明があった。平均視聴時間も2分34秒と安定しているとの補足があった。
  - ・視聴者の年齢と性別では、45歳以上が全体の6割以上、男性が7割を占めており、昨年に比べ女性の比率が上がっているとの説明があった。視聴端末はスマホが多く、ゲーム機での視聴も増えていることが特徴である。
  - ・YouTubeチャンネルの画面構成を分かりやすく整備したことや寄せ書き旗・二次利用可能番組・PRチラシの状況を共有した。また、各代協の理解と協力により、スケジュールに沿って撮影できたとの報告があった。止むを得ない事情により、一部代協で再撮影の対応があった為、DVDの提供は2/7頃になる予定。
  - ・次に2018年度企画に関して、視聴回数163,283回・総再生時間6802.2時間・平均視聴時間2分29秒等のデータを共有し、しっかり視聴されていると総括した。
  - ・全代協の動画配信完了(3/20予定)以降のプロモーションとして、当初の提案通りに自前で収録・編集・配信ができるまでのサポート(カメラ・マイク・照明の貸出や運用計画書の提供等)を受けることとした。番組形式で、「みなさまの保険情報」「日本代協アカデミー」等の取組みを伝える内容を検討し、具体案はdirectで共有することとした。
  - ・大和副委員長より、「代協の魅力伝える動画」の構成案について説明があった。インプリメント社より、動画制作において必要なことはストーリー性ではなくキーワードの選定であるとのアドバイスがあり、該社にて2月中旬を目途に日本代協正副会長のインタビューを敢行することとした。
  - ・インタビューから得られたキーワードをイメージしてベースの映像を制作し、directで共有することとした。肝の部分に関しては3パターン制作し、3月末完成を目指す。

## ・その他・閉会

### 1. 情報提供

- ・事務局より、1月1日にスタートした47代協+日本代協のリレー形式の動画企画の概要を説明し、日本代協 YouTube チャンネルへの登録を要請した。
- ・次に、国民年金基金のメリットを記載したチラシを配布し、自営業者への情報提供ツールとして活用するよう案内した。
- ・日本代協アカデミーのID登録数の現況を共有し、保険会社のコンプラ・商品研修の先にある顧客本位の業務運営の実践には、日本代協アカデミーの活用が必須であることを説明した。階層別の社員教育モデルプランのシートを提供するので、参考とするよう紹介した。

### 2. 小平副会長閉会挨拶

- ・本年もよろしく願いたい。
- ・長時間論議いただき、大分進んできたという印象を受ける。
- ・去年は direct のフル活用で順調に事業遂行できていると認識しており、心から御礼申し上げる。
- ・次回はこのメンバーで最後の委員会となるが、2年間の総括をしていただき、2020年度第1回日本代協理事会にて委員長より答申を報告いただきたい。
- ・本日は以下の情報提供をさせていただく。
- ・先日、関東財務局のヒアリングを受けた会員と話す機会があり、休憩なしの3時間コースで、社員教育に関する質問等が多かったとのことである。日本代協アカデミーに関しては、社員教育における階層別年間計画シートの雛型を提供するので、是非活用いただきたい。
- ・次に、ビジョン委員会で監修した損保・生保の基礎学習用CDについてである。送料込み1,000円と大変コストパフォーマンスの高い中身であり、購入することをお薦めする。定例の社内勉強会等に活用でき、損害保険用語集も掲載されており、辞書代わりにもなる。
- ・最後に、保険毎日新聞社の森記者が東日本大震災の「地震保険対策本部」で指揮に当たった二人の事務局長の奮闘を中心に取材した連載記事「決断」が書籍化された。全保険募集人に読んでいただきたい感動的な内容である。
- ・皆さんの任期は6月までとなり、各自が職責を果たすことを大いに期待している。

以上

次回開催日 2020年4月6日(月) 13:00~17:00